

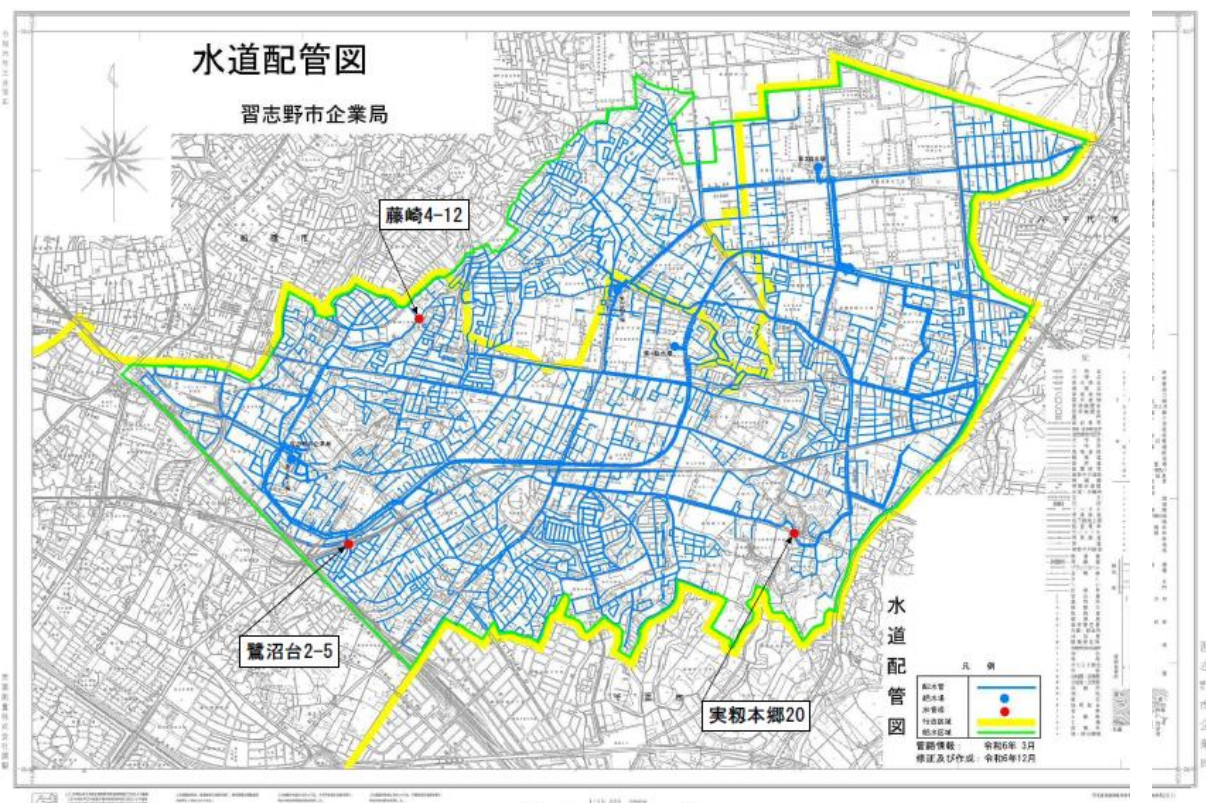
水管橋の現状について

1. 水管橋

一般的に水道管は道路に埋設しますが、河川や鉄道等を横断する際は、水道管を独立して架設する方法や、橋梁に添架する方法により設置します。

習志野市企業局の給水区域内では、独立型が1箇所、添架型が2箇所、あわせて3箇所設置しています。（下記 図－1 水道配管図参照）

図－1 水道配管図



※千葉県企業局の供給区域（JR総武線より南側）にある水管橋の位置や概要については、千葉県企業局へお問い合わせください。

2. 現状（点検結果）

日常的な点検に加え、令和3年10月7日に発生した地震の影響により発生した養老川水管橋の漏水事故を受けて、令和3年10月11日に職員による緊急点検を実施した結果、破損や漏水等の異常は認められませんでした。

しかし、管の腐食を防止する保護層の劣化が認められたため、今後、計画的な対策を講じるとともに、引き続き点検を実施します。

表-1 水管橋の概要（一部、現地写真を掲載）

場 所	藤崎4-12 藤崎小学校東側（独立）
	
管種・口径 延 長 設 置	鋼管・φ100mm 13m 昭和60年
場 所	鷺沼台2-5 かえで橋（添架）
管種・口径 延 長 設 置	鋼管・φ200mm 15m 昭和59年 道路橋に添架
場 所	実籾本郷20 実籾高校下 浜田川都市下水路（添架）
管種・口径 延 長 設 置	ダクタイル鋳鉄管・φ250mm 15.8m 平成2年 鋼板の下に設置